

【神栖市の地下水における有機ヒ素化合物の令和5年度検査結果について】

令和6年8月
茨城県潮来保健所

神栖市内の地下水から有機ヒ素化合物が検出されている地点は、令和4年度より11地点増え、数値が高くなっているところがあります。

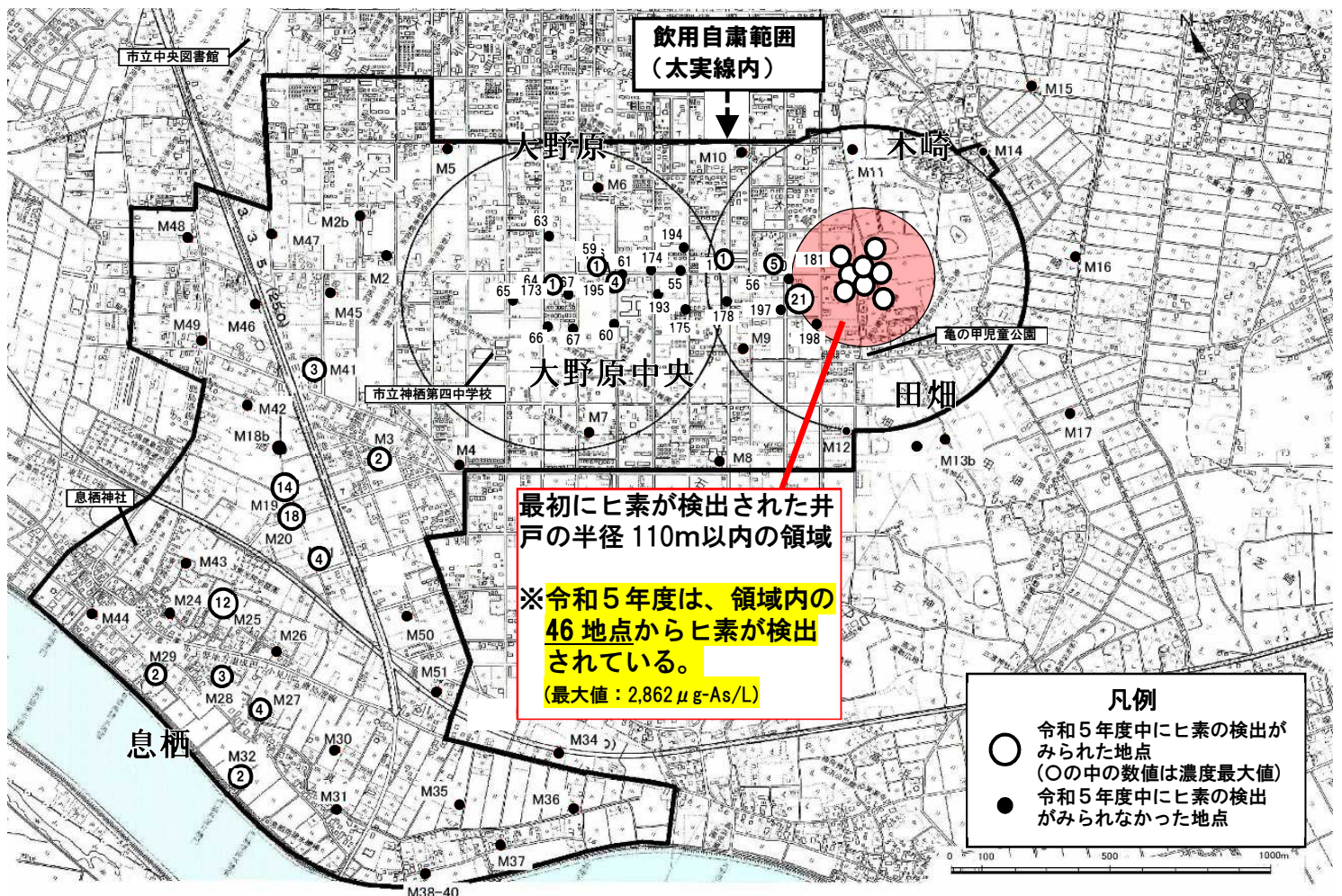
下記の地図は、令和5年度、環境省が実施した年4回のモニタリングデータ(下記※)をもとに潮来保健所が作成しております。

有機ヒ素化合物の検出地点は「○印」、「○印」の中の数値($\mu\text{g-As/L}$)は、有機ヒ素化合物濃度の最大値です。4回とも検出されなかった地点は「●印」で表しています。

なお、「○印」、「●印」付近の数字等は、地点番号です。

地下水の流動により有機ヒ素化合物の濃度数値は変動があり、数値が検出されていない地点「●印」においても将来は検出される可能性があります。

井戸水の飲用自粛について判断するうえでのご参考にしてください。



※詳しい結果は、環境省ホームページ「国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会資料」をご覧ください。

http://www.env.go.jp/chemi/gas_inform/sonota_singi/sonota01.html